

岩屋町説明会会議録

平成27年6月20日（土） 午後7時～9時30分 場所：岩屋町公民館

市側出席者：並河市長、山中公室長、川口特命参与、井上課長

天理市長資料説明

岩屋町：ここに処理場持ってくる理由が、今の説明では分からない。処理場が老朽化と、これは定期的
にずっと移動するという形、こんな聞いた事無い。今ある所、なぜ移動しないといけないのか。
次に、今どういう検討されて、ここを選んだのか。それも、こういう高台で、環境もここら辺は
気にしている所ですが、他にも色々候補あると思うんですが、何故、ここがこうなってるのか分
からない。

天理市：広域化したから、広い場所が出てくるという事ではなく、今と全く同じ規模の物を造ったら、
今の施設の中に建てる余地というのは無い状況です。それは、実際に日々ごみの処理を行って
いて、それを全部止めて、更地にして、その後、何年かかけて建て替えるという事になれば、今
建っている物が建たない訳ないや無いかと思われませんが、それは建ちますが、その為には、数年、
少なく見積もっても4年位の処理をする場所が無い状況で、潰さないといけないという事。今の
状況を考えると、周りの相当たくさんの民有地を買い足して行く事になり、それが10年以上、田
原本との関係があり、現在の敷地においては、具体的な計画として進めていく事が出来ないと判
断したという理由です。その他に、山間、東部の方であったり、市内の南部であったり、これは
事務的には検討しました。市の大きな方針としては、これは今まで聞いた事がないと思われるか
も知れないが、それは、自分の就任前の事を言うのは、あれですが、長らく根本的な問題に向き
合ってくるという事が、残念ながら行政として無かったという事で、ただクリーンセンターの職
員はみんな一生懸命考えてくれておりました。その時の検討状況を全部確認していった所、まと
まった土地で確保出来る見込みの所は無い。後は、車の運行、パッカー車の運用等を考えて、こ
の場所が、地権者の理解も得て、早急にまとまった場所として、確保出来る見込みが立った、唯
一の場所であったという事です。

岩屋町：ルートについて聞きたい。2番、名阪走らへんのかなー。名阪国道走って、東インターから降
りてくれたら・・・。

天理市：他市町村から持ち込む物については、基本的に名阪を通して来る。市の中を走るパッカー車に
ついては、現時点で想定されるのは、橿本の南部、丹波市校区、山の辺、前栽等に関しては、名
阪に乗ってくる場所ではなく、ここに一般道を通して来る

岩屋町：名阪走っても変らへん。名阪通ってくれと言っているんです。

天理市：出来る限り、名阪を通してというふうに考えていますけども、場所によっては、市場、六総の
辺・・・。

岩屋町：上を走っても、側道走っても一緒。あんた、名阪走った事あるの。

天理市：勿論あります。

岩屋町：一緒やん

天理市：それは、今後のルートを選択するところに於いて調整をかけていき、出来るだけ2番を通るルートを少なくしていく事は可能だと思います。天理インターから入って、東インターでという事ですね。

岩屋町：その話は・・・の話で、そこへするまでに至った第一期の話で、走るんだったら・・・どうのこうのするという話ではない。まだ、そんな所までいっていない。・・・。

天理市：私としては、これを進めて行くべく、検討を行っていくという事でございます。・・・。

岩屋町：・・・。これは、出来る事を前提にしている。そんな話、違うやろ。そんな今聞いただけで、そんな話おかしいやろ。・・・斬新な市長来て頂いたと思っています。ところが市長先程仰った、今までこの問題はありました。改めてこれを1回実現化させていこうと、こう話している訳で、これは良い事だと思います。ごみは出さないといけないから、しかし今、この地区にこれを持って来た理由が、今日はね、寝耳に水で、こういう資料、初めて頂いてビックリしている。これをやらないといけないという事であれば、もう少し色々出来る。六総もごましますし。説明聞いたけども、基本的なものの考え方として、もう少し、ここへ来た経緯を十分、六総なり、特に岩屋や、岩屋町の名義に入るんですね。

天理市：そうです、領内として。

岩屋町：それで広域行政をやっていくと、1町1村でこういう事出来ないと、それで、立派な市長来て頂いたので、案として、奈良、天理、郡山それをまとめた焼却場を造っていくという物の考え方、まず1つ、何もここでなくても、仮に、奈良と天理と組めば、高樋の山の間の地区、あそこら辺候補として良いと、立派な市長と、知事と話してもらって、これをみんな寄ってやって行く、新たにやってもらえないのかなー。

天理市：必要な面積を地権者の関係で、確保出来る目途が立っている場所というのは、市内に於いてこの場所しかございません。共に、車の運用、維持管理、運用で収集費用が相当変わって来るんですが、それが山間の方では難しく、土地があるというだけで無く、例えばグリーンテクノの話がされた事も他の所ではありました。あれは企業が来なかった。何をやっても進まなかった理由として、造成をしないとイケない。それに数十億の費用がかかって、誰も初期投資をする者がいなく、今まで塩漬けになっていたというのが福住の方です。そういった所からすると、平らで確保出来る場所がここという事です。奈良市、郡山市という関係ですが、奈良市については、自分の市だけでも全く実現化出来る目途が立ってない。それは、他所の市の行政がやっている事なので、あまり私の口から言えませんが全く、いつ進んで行きそうか、目途が立ってない中で、私共の炉が10年しかもたない状況ですので、ここに頼って物事を進めて行くのが出来ない状況です。郡山

については、自前でやっていくという事です。既に51億円の長期修繕に向けて動き出しましたので、これについても無理です。そこに天理市を全部乗せてくれというのも、これは・・・。

岩屋町：他市が動く時に、一緒にやれる事があるや無いか。

天理市：一緒にやる為には、タイミングと、後は必要な面積と、実際の数というより人口の取っているごみの量というのがあるますので、何処でも組めるというのは、無いです。

岩屋町：市長がお見えになって、始めてこれをやって・・・我々から見れば、これをやれば・・・焦っておられる様に思う。

天理市：実際には、5年後までの間に環境影響評価という事をしっかりやった上で、この着工という事になってくる。今の時点では、見据えた作業になる。今日、自分が来たから、それがアリバイの様になって地元のご理解を得てというような事を、今後言っていくつもりはございません。これから、実際に着工に向かって行く中において、何度でも、資料も配って行かないとというふうに考えています。ただ、一方でこれを、私が悪市長と言われようと、何であろうと、天理市として持続可能なごみ処理を、行政としてやっていかないと、これは間違いない事実でして、これまで、市がサボったと言われれば、サボっていたんです。それは、市全体の枠組として、5年前、10年前に考えておくべきであったと思いますが、なかなか、今から時計の針を戻すというのは・・・。

岩屋町：新施設は、広域でやっていきたいというのを、もう一度考え直して頂きたい。それと、現在あるのを修理したら、多額の費用が掛かる、現在ある所を修理も一つの方法や無いかと。何も新しいもの造らなくても、先程、60億掛かると、それは民地を買ってやるというよりも、それを、今使用させてもらおうと、それくらいの行政間の、あれがある訳でしょ。だから修理する為に必要なものやっていくと。色々方法あるでしょ。僕が質問しているのは、岩屋にというのは、今日始めて聞いた事であって、市長、長々と仰った。質問に関して、市長、僕が言っているのは、端的な、しっかりとした、みんな質問、何でもかんでも・・・。

天理市：要は15年の長寿命化しても、その直後には結局新しい物がないといけない訳です。根本的な解決にはならない上に、2回新設するくらいの大きな負担が掛かってくる中で、これについて、どうしても主観的に喜ばれる施設かという、そうではないと理解しています。ただ、なぜ皆さんの中で、ここでは困るというふうに思われるのか。それを具体的に仰って頂ければ、それについて、きちんと環境影響評価の中に置いて、1つ1つ丁寧にご説明していかないといけない。これは行政の役割だと思っています。

岩屋町：1つは、ここへ来てもらって困るのは、プロバガンダになる的、棟をね、例えば、岩屋町へ行くのは、どこ行ったら良いのかと誰かが聞いたと、あそこに焼却場建っている、あの町や。あの所から500m位東へ行ったら、そこが岩屋や。非常に、プロバガンダの棟として、非常に目につきやすい。これが悪い印象をもたらす、福島と一緒に。折角良い物を造っても、おおてないというのと一緒に、原発の件で、あそこにももの凄い物があれば良いですが、焼却場のある村やとね。このプロバガンダが一番困るんですよ。印象が悪くなる。

天理市：それについては、市内のいずれかの地に、ごみ処理する施設というのは、日々の暮らしの中で、毎日出る物ですから、必要な物です。これと共に実際に、今全国的に、町近くの所に、これが建っているという、これが現状です。是非この点を、ご理解頂きたい。先程申しましたが、東京なんかに行けば500mの所に1万人の方が住んでいる。どんどん新しいマンションなんかも建っているわけで、クリーンセンターがあるから、それによってイメージが悪くなるとのみを持って、反対だというふうに仰られるのであれば、それは状況が大分違って来ているという事を説明していき、それと共に何かメリットがあるのかという事について、今後、電力であったり、熱源の利用であったりという所は、これは、私共、削減されていく予算の中で、地域へ充当していかないと考えております。東京に行けば至る所でこういう物が、町の中にあります。

岩屋町：それは東京は密集しているので仕方なく、こんな広い所でね、それは意味間違えています。それなら尚更、ここへ来ても、何処でも、東京の例出されていましたが、他に本当に候補、何処でもあるじゃないですか。それはちゃんと検討した上で今日来られているのか。もうここへしますという言い方で馬鹿にされているとしか思えへん、今日は・・・検討、どうされているのか。

天理市：過去5カ所程、事務的には検討進んでおりました。しかし、相当広い面積を必要とする所なので、それについて、きちんと地権者から、今回は借用という事できている訳ですけども、具体的な場所というのは、例えば市有地がどこかにまとまってあって、そこに十分設置が出来るという事であれば、又考えが変わってくるが、今現在・・・。

岩屋町：ここ市有地ですか。今言っておられるのは市有地ですか。

天理市：民有地ですが、地権者の数が限定的でして、そこから借用出来るというような形で、交渉させて頂いている状況です。今この場所以外に、こういった場所がありません。後、私の個人の性格として焦っているとか、手柄を何か急いでるとかではなく、実質的にこの10年間で、この炉が止まって、持たないと、その中で今動いて、丸10年掛かって行くのが、このクリーンセンターだという中で、他の候補地を確保する見込みというのは・・・。

岩屋町：それは、行政の立場から物言っているの。

天理市：そうです。だから、そこについて・・・。

岩屋町：こっちの立場から、一つも物言うてない。違う。何で、頭から来るの。広域行政にして、借りたらええ。なぜそういう市長として出来ないのか。何を協力したら、ええねん。

天理市：それについては、例えば、こういった施設が来る。じゃあその分、地元に関わるといって相談であれば、それは私共も・・・。

岩屋町：今日、市長来て頂いて有り難いんですけども、ありきで来られている。決まったという、前提で話ししている。もう説明しましたよ、それで、ありきですよ。

天理市：それについて、私共・・・。

岩屋町：こんな話あると、誰が知っていたんですか。僕らは、今日始めて知って、クリーンセンターが来るというチラシが、役員会で配った。・・・この他に候補地は。天理市は何も考えてないんですか。

天理市：今現在、この延命化をしないで済むタイミング、あるいは・・・事業として進めていける土地としては、ここ以外の候補地としては持っておりません。

岩屋町：当たり前ですわ。あんた言うの・・・。

天理市：皆様から、なぜこの部分がという事が、仰って頂く中で、例えば、水が気になる、空気が気になる、そういった点については、これを・・・。

岩屋町：違う、違う。市長、違う事言ってる。ちょっと、言葉が長過ぎるけども・・・。

天理市：主観の問題も・・・。

岩屋町：主観もあるけど、ここへ持って来たのが、なぜかという質問に対して、ポイントは、お金が掛からんからですわ。天理教の土地やと、せやから。ここ天理教の土地、借地で。せやから、早いから、あんた、違う所へ、こんな事は・・・。何年の契約してるの。

天理市：民有地を、これだけの広さの土地をまとめていける場所というのは、今すぐ、首にして頂いても、見つかりません。

岩屋町：違うやろ。おかしいやろ。メガソーラーの所。

天理市：メガソーラーの所はですね・・・。

岩屋町：分かりません。前の市長の時に、決まっていたのか知らないが・・・。

天理市：あそこは地形的に立地させる事が出来ない。造成をしないとイケない。土地の形状的に造成を10億で効かない単位でやらなければ出来ないという事。各パッカー車を全部山の方に向かわせて行くとなれば、非常に運用上も、福住では難しいというふうに・・・。

岩屋町：市長、それはすぐにしようと思うからや。今さっきいった様に、こんな物、10年も20年も掛かって出来る物であって、今やり易い所へ持ってくるからそうなる。この話は。その町の中でも出来ると言っておられた、何もこんな所へ持ってこなくてもいいのでは。

天理市：町の中、当然仰る事はよく分かりますが、町の中で今言っている面積を確保出来るかというのと、

場所の確保というのは非常に難しいと思います。10年かけて出来るかと、それも不可能・・・。

岩屋町：田いっぱいある。

天理市：田いっぱいあっても、協力無かったら・・・。

岩屋町：他の地権者に頼んでもいいから、住んでいる町民が苦しむわけ。イメージダウンで。

天理市：それを言い出すと、天理市のどこであっても同じ話・・・。

岩屋町：だから、何でここへ持ってくるの。もっとね・・・。

天理市：我々としては、これは、ご理解をお願いする立場であると思っています。何とか、今後の天理市をきちっと運営していく為に、皆様のご理解を得るという事。これは、平にお願いをしに来ないといけない立場という事を認識しておりますので、上から押し付けたというふうに考えているわけではございません。実際に、この今どころが・・・用地というのがここしかない。

岩屋町：市長さん仰ったね。これは、1つの短期間で出来る案だと。今の話聞いていたら、余計に疑問を持ってきたのは、もう決まっている状態で、あなた仰っているのですか。これは・・・。

天理市：ここで進めさせて頂きたいという事について、様々な懸念点について答えながら、ご理解を得ていく為に、本日来させて頂きました。

岩屋町：ほんだから、もう時遅いですわ。この会合は、もっと早く岩屋町が、この煙が経った時に、もっと寄ってこの事を議論して、そして徐々に納得を得て行かなければ、こんな早急な事出来ません。

天理市：その中で、お暮らしの中で、お困りの点があるのかという点を、是非仰って頂きたい。確かに、天理の中の岩屋領内ですが、その中において、じゃー天理はと言われれば、名阪国道通られる方にとつたら、名阪からクリーンセンター見える場所だと言われる事もあるでしょう。その範囲の中では、岩屋、山の辺校区、山の辺と櫛本の間、名阪沿いかも知れないが、本当に必要な施設を考えて行くに当たっては、イメージの部分だけ仰られると・・・。

岩屋町：あんた、選挙に出る時の話より、ベラベラ喋らんと、ポイントをパッキ、パッキと言って・・・。もう質問受けないで下さい。まず今日、一般では今日始めて聞く話です。でしょう。それ以前に役員さんにでも、この話はあったんですか。

天理市：() 役員さんには、私の方から、役員会の中でこういう話を・・・。

岩屋町：役員会であれば何で、もっと早く分からないの。こんな降って沸いたような話、もう少し早く聞かせてもらったら・・・。そこにも、問題がある。

天理市：そこは、私共きちんと、丁寧に地元にご説明していかないと、いけないという認識は、ございますので、校区の役員の皆さん、そして町内の皆さん、今少しずつ進んで来ているという状況でございます。そして、これは、いつ聞いたからだと、1カ月前に聞いて、今と同じ、違うという事は無いと思います。

岩屋町：いいや、そんな事ないと思います。人間の感情として、それは徐々に、そこまで説明し、そこまでいくから仕方ないかという気持ちもあるでしょう。そんな事言って、これだけ昔から住んでいる土地にそういうのが出来てしまうのだから、今言うイメージダウンになるんだから。

天理市：出来る限り時間をかけて、皆さんにお話をしていきたいという事は率直な心でございます。今から10年かけて、皆さんとお話をしていくという事が行政として可能かと、今現在の炉が動かなくなる、ギリギリのタイミングでありまして……。

岩屋町：ちょっと市長、あんた、あまり数字で、何々解いてイコールとなるような事言わないで、そのプロセスを言わなければ、前へ進めない。違いますかねー。そんな話、みんなの話も聞いて、我々は、今日始めて聞いて、寝耳に水なんですよ。

天理市：今の施設というのが、今のクリーンセンターのイメージでしかない。最新の施設はどういう物なんだという事について、これは、見て頂いたら全然違って来るかなーと感じています……。

岩屋町：ちょっと違いますからね。だからそんな早急には……。みんなの話も聞いて、我々感じるには、寝耳に水なんです。

天理市：ですから、ここから失敗じゃなくて、懸念される、実際に今の施設という見た、見てないは全然違うので、今まで区長連合会の皆さんには、こういった施設見て頂く機会も多かったかなーと思っていますが、今後皆さんに、この近隣の施設が実際どういう所かというのを見て頂く為の予算というものを付けて、今後町の皆様と調整したいと思います。

岩屋町：タイムスケジュールと言わはったけど、線路の上走る。まだ私達、線路の上乗ってない。あんた乗っているか知れないが、岩屋町の人、誰も乗ってない。その通りや。な、勘違いや。勘違いやで。今始めて聞いただけやのに。タイムスケジュールって、何やそれっていう話でっせ。

天理市：順を追って今後、本当にどういった事になるのかといった事で、情報もきちっと共有させて頂きながら……。

岩屋町：共有って。そんな問題じゃないねん。……もっと説明せー……。

天理市：皆さん、色々お気持ちあると思います。私も思う事あります。なぜ、今まで市が放っておいてきたのか……。

岩屋町：ちょっと待ちーな。……ちょっと待ちーな……。

天理市：本当に、この問題にちゃんと向き合っていくような市長を、もっと何年も前に、ちゃんとお選びになって、そしてこの問題をちゃんと真剣に考えていかないといけないという事であれば、もっと時間的余裕があるわけです。

岩屋町：ちょっと、あんた・・・。

天理市：今日始めて説明させて頂いて、何でもっと早く出来なかったのかという部分で・・・。

岩屋町：来なかったのと違うがな。僕、もっというのは、市長の一番分かっている人、岩屋から出てくれているやん、あんたの左腕の人が、立派やいうてる区長もおんねん。それが何で今頃、我々にわかるんや、それがおかしいというのや。その時に会議開いて・・・あんたにも攻めているけど、違う所にも攻めている。

天理市：(山中) すみません。

岩屋町：当たり前やん。役員さんも、事前に聞いてんのか・・・。

天理市：(山中) ただ説明会は、初回です。何でもそうですが・・・。

岩屋町：始めから決まった様な話や・・・。

天理市：決まった話というよりは、こういう形で市としては、進めていきたいという思いでございます。その中で皆さんの意見を聞きながら、例えば、ここへ来たらこういう問題が発生するから反対だと言って頂ければ、それに対応していくと。

岩屋町：まず、イメージダウンね。それとさつき、町の中でも、こんな施設いくらでも出来ると、何もこんな所に持ってこなくても。

天理市：それは、まず土地がない、確保出来なければ、出来ません。

岩屋町：・・・。田んぼあるがな。

天理市：田んぼでも、個人の持ち物で・・・。

岩屋町：努力不足・・・。

天理市：今までから、この問題をしっかりとやってくれば、こんな事にならなかったかも知れないが、ただやってきても、実際出来たかどうかというの分らない。

岩屋町：でも、筋は通さないと、岩屋の地区に入っているんでしょ。一番先に声かけるべきではないか。

それなのに、他所へ行ってしもうて・・・。

天理市：その順番については、お声掛けしているタイミングとかは、ずっと相談しながらだったんでございます。

岩屋町：その相談した人、来てないのか。櫛本から先に行ってるねやろ

天理市：櫛本の住民説明会は、今からです。一番始めが6月末から7月にかけてが住民説明会ですので、役員さん以外の方に説明しているのは、今日が初めてです。

岩屋町：六総でやったと言ってた。

天理市：それは、農家組合の皆さんです。役員とかの皆さんにやらして頂いたという事です。これから、市民の皆さん向けの説明会をする予定になっています。櫛本は役員説明会をしました。そういう資料を、回覧で回さした様です。それが、状況知らなかったのも、最近知ったんですけど、岩屋でもそういうふうにしてあげれば良かった。

岩屋町：せやけど、岩屋にね、知った時点で、やはり区長にでもいっていると思うわ。こんな重要な話やから、その時に第一務として、実はこういう話やと、総集会開いて、一遍も開いてないやないか。一遍開いた。こんな大事な事は、僕らの時は、総集会開けと言われて、開いたよ。全然開かんと、そんな堂とかは、微々たる問題や。この事はイメージダウンになるから、これは、こういう事は、役員、もっと聞いたらすぐに、区民集めて相談しなはれ、何してますの。何も市長に攻めているのではなく、そういう事、区民知らんから、こんな事になってしまう。知っていたら、こんなね、市長、かなり経歴持ったね・・・ただし、あまり早急にしない事です。これはおそらく、県会も、全ての事回して、そこら辺の事もあると思うけどね。県会、市会あると、ごく最近聞いた。これもう出来上がってしまっているかっこや。だから、そこを言おうとするから、あんなに、無理がある。

天理市：もうこれは、急ぎたい、急ぎたくないの問題では無く、実際に市として、やらないといけない事の中に、時間事項を当てはめていった時に、このタイミングになってしまったことについて、本当に市行政として、申し訳無いというふうに思っています。

岩屋町：それは、市の失敗ですやんか。岩屋へ持って来る。かなり時間かかります。

天理市：その点について、考えているんですけども・・・。

岩屋町：嘉幡の隣接地もありましたやん。それも売り払ってしまって、メガソーラーの所もありましたやんか・・・。

天理市：メガソーラーの所は、あっても・・・。

岩屋町：何処も一緒ですよ。お金かければ何とかなる。後は、住民感情に対しては、何処へ持って行っても、誰も、メンタルなんて、いりませんよ。

天理市：福住も一つの候補地というのも、間違いないですが、冬になれば、雪の問題とか、色々あって、候補地としては、低くなってくる。

岩屋町：ここへ持ってくる。広域で高樋の方面だったら、高樋怒るかも分からへんよ地形的にも……。

天理市：奈良市で……。

岩屋町：奈良市の今の所の処理場、あれを替えなあかんのと……。

天理市：昭和57年の竣工ですので、うちのクリーンセンターと同時に建った施設です。

岩屋町：だから、それ一緒になって、あの分岐点で奈良、天理とで……。

天理市：奈良市が候補地あって、もしそこがいけるんだったら、そこへ行っているんですけども……。
奈良の方がむしろ、自分達の事が処理出来ず、宙に浮いてしまっている状態です。

岩屋町：一緒にやったらええねやん。そういう事、出来ないの。奈良市の市長と……。

天理市：奈良市だけでも、持て余して、今計画進めていないです。

岩屋町：……。

天理市：奈良市は、今後、自分の市の中の物も、処理出来ない。自途も立てられてない状況で……。

岩屋町：話し合い、出てないのか。

天理市：奈良市自身が、全く無理な状況です。自分自身の事も自途が立てられなくて。広域化というのが出来ない。むしろ無いところなので、奈良の方が何とか天理というのでお断りしている状況です。1回新聞に載った時、参加したいと、奈良市が逆に天理へ入れてくれないかというくらい、奈良の状況です。奈良の面積からして、受ける事が出来ないという事です。

岩屋町：一緒に行こう、その話やったら。

天理市：天理市に乗りたいという話やから、それは、無理ですという事で……。

岩屋町：天理市のあそこですましよう、そしたら、焼却場もそこへ行けるのかなー。何もここへ……。
岩屋はね、ここは環境の良い所で、春夏秋冬の花もたくさん咲くし、非常に良い所。ただ問題は、谷間やから、風向きが、西から乗ってかなり来る訳やから、住んでみないと分からない。実際、

水蒸気だと言われても、分かりませんわねー。

天理市：そこは、数値が上がれば、工場を造る事が出来ないという事とで、具体的に仰っていたければ、こうですと、臭いについては、こうですと説明・・・・・・・・

岩屋町：水蒸気出てますやろ、それ見て、岩屋というのは、水も空気も良い所、住もうかという所、来たい所、あの煙突建っている所、焼却場の東やで、これがイメージダウン、ほなやめとこ。これ各新聞に全部間違いないですと、数値報告すれば良いですよ、一般から見たらね。

天理市：これ、どなたでも見て頂けるように、この数値は公開しています。

岩屋町：それがあなたねー。子供さんにやったら分かるけど、岩屋ってどこや。煙出たるあの東の方、焼却場の所。ある程度知っている人は・・・わからないけども、いいですか、人の心は、感情、心これが一番問題なんです。

天理市：今現在の施設というのは、近くの場合でも、多くの方が住まれているというのが実際のところ
です。

岩屋町：それは東京みたいな所で、場所無いからです。ここは東京と違います。

天理市：他の場所でも、住めるような所でも・・・、実際住んでいらっしゃる訳で・・・。イメージ的には仰る通り、みんなの意識は、そういう意識あるというのは、否定しませんけども、その為に環境を整備する事も、皆さんと一緒に考えていこうと・・・。

岩屋町：・・・沢山あるのにね、これポッと煙突建ったらね・・・。もっと今言うと、高樋のあの辺だったら、ぎょうさん田もあるし、山もある。

天理市：私共も、十分活用していない白川の公園もあります。そういった所を、今後環境の点でもプラスになるようにして行ったら良いか、それは皆さんのご意見を伺いながら、しっかりやっていきたいと思えますし、例で出しましたJAと一緒にあって、農業団地を造っていいこうというような事も、今起きてきているのが、現状でございます。

岩屋町：農業団地ね。こんなね・・・。

天理市：天理の話ではなく、そういう事も世の中には、あるという事の中で、今から5年かけて、皆さんと電力を活用して、プラスになるような事をやっていきたい。

岩屋町：市長ね、具体的に何か2、3言って下さい。あなた、これやれば具体的に何、環境にプラスになる、メリットを作って・・・承諾しませんよ・・・。しないけども、どう思っていますの。

天理市：今後、電力、熱、そういった所を活用した様な計画というのを、国、県とも相談しながら、考

えて行きたいと思っています。これが環境の評価が出る、それがOK出なければ、着工も出来ない。

岩屋町：仮に、岩屋の電力全部タダにしてあげるとか、ソーラーを付けてね。これをクリーンセンターとして付けて、これを岩屋の消費電力をみんなタダにしてあげとか、或いは固定資産税を減額してあげるとか、そういう、あんだ、具体的に何かありませんか。

天理市：それは、今後の検討という事になります。

岩屋町：自分は・・・ばかり言うて・・・。万が一、これが出来た時に、どういうメリットが、岩屋に還元してあげるのか。

天理市：ですから、それについては、どういうご希望があるのかというのを伺いながら、出来る事を模索していきたい。

岩屋町：意見を聞かしてもらおう。我々が、これしますと言ったって・・・。

天理市：皆さんの意見を聞きながら、出来る事をやっっていこうと・・・。

岩屋町：天理市の為にしてあげると。固定資産税みたいなや、岩屋みんな半額にしてあげたら・・・。

天理市：ここだけ、タダにするなんていうのも・・・出来る部分を見ながら・・・。

岩屋町：市長が言ったように、電力、ソーラー付けたるわ、これで、そういう見返りもあるんだと・・・。

天理市：そこは、これから丸4年以上5年近くあるので、とにかく先進地事例となって行けるようになって・・・。

岩屋町：ここへ来たら、電気いらなくなる場合もあるな・・・。

天理市：実際、三鷹はそれで、電力供給を周りにされています。そういうような、電力供給も可能性としてはありますので、それはすみません、今から検討していくという事です。

岩屋町：可能性あるという事やったら、クリーンセンターの熱源を、無駄に放出しないで、そこで発電設備もして・・・。

天理市：発電設備はする予定になっています。発電施設にする事によって・・・に・・・するという事です。始めからここで火力発電所として機能するという事です。

岩屋町：市長ね、電力ありますね。それとスポーツセンターみたいな事、嘉幡の横でスポーツ施設ありますね、あれプール温水にして、熱引っ張ってきて・・・。

天理市：それは出来ますね。実際に古い施設でも、郡山なんかもやっている。今の嘉幡の施設は、隣にプールがありますけども、それを温水にするという形で、熱は利用できていないので、これからこの施設については、熱を利用するという事で、もう考えています。熱と電力は何らかの形で活用させて頂くと・・・。

岩屋町：悪い印象と、素晴らしい環境との、それを考えたら、区民は、納得してくれるかも分からない。ひよっとしたらですよ。

天理市：今日、始めて説明させてもらって、これから色々な意見を聞かせて頂きながら・・・。

岩屋町：これからと言っても、これも線路引いたる。・・・5年間、10年先まで線路引いてある。・・・それがいけないと言っている。

天理市：その点については、今後どれだけの予算になってくるのか、県からどれだけもらえるのかと見ながら、これによって財政説明出来るのかというのを、合わせて地元の皆さんに還元できる施策というのは、市の仕事だと思っています。電力はいずれにしても必ずここで作ります。それをどう活用していくかと、全てが皆さんにという事ではなく、ここは櫓と隣接する場所でもありますし、地元を何処まで括るかという事ですが、それについては、皆さんと協議していきますので、何度でも足を運ばせて頂いて、相談したいと思っています。

岩屋町：おたく、電力と仰ったから、非常に・・・と思ったのですが、作る電力は微々たるものと違いますの。何処か、ソーラーの場所を市で造って、そして岩屋全体に電力を供給すると、そのくらいの事考え無いとね。こんなんいいというような話にならへん。

天理市：その辺も市民の皆さんも理解出来るような形にしないと・・・。

岩屋町：こんな、まとまった(案)出ていますけど、これは、お伺いとして出してもらっている訳やな。お伺いやろ。ルールには乗ってないやろ。

天理市：これから、実際どこからルールと言うか何ですが・・・。

岩屋町：計画載っているやろ。

天理市：実際の計画としては、来年度にこの環境の評価をしていく為の作業というのは、やっていきたいと考えていますが、物を造って建設というのが、完全なルールかと言えば、本当にここが問題だと、環境上ダメだという事になれば、造れないという事になります。そこをちゃんと対応していく期間はあるという事の中で、5番目に書いてありますが、4年間を地元の皆さんとの会話をさせて頂く期間という事で書かせて頂いた。緑色の部分です。今日から実際に、地元の皆さんとの会話であり、見学会を組ませて頂く、あるいは地元プラスになる要素なり、ここのインフラ整備とか、そういうふうな会話を、この機会にやっていく期間だと思っています。

岩屋町：今ここを設定して、その時間帯が4年間というような聞き方したが、これ以外の選択を、これからもするという事ですか。そうで無ければ決まって来る。

天理市：万が一にも、それが適切な用地があれば・・・。

岩屋町：あればや無いがな。それ、探さないとかかんやないの。・・・ありきや・・・探す気、無い・・・。
無い、無い・・・全く無いやん。

天理市：土地を確保する事自体が出来ない・・・。

岩屋町：・・・ここに決めているから、他の所・・・消防のあの辺、売ったらええやん。

天理市：土地を選定した上で、その場所でやった場合、どうなるかというのが影響評価です。今ここを候補地として行くという事で、やっと9年後に操業出来ると事が、このクリーンセンターの、建設しないとイケないルールになっておりますので、今から・・・。

岩屋町：決まっているという事・・・決まっているやん・・・ここ目付けられたのは、何年前、今日、市長来て頂いたけど、こんな話聞きたくもなかった。何か誤魔化されているようだ。これを設定したのは、目付けたのは、いつですか。市長、当選してからやろ。

天理市：実際には、比較検討を事務方がしていたものの中で、私が就任してから、元々の想定であった、長寿命化、今の場所で無理だという事が分かって、昨年度地権者の方と色々交渉させて頂いて、今年に入るあたりで、その目度が付きましたので、そこから少しずつ地域の校区の皆さんへ説明していこうという流れになって来て、今日岩屋におきまして、こういった形での会議を持たせて頂いたという事です。

岩屋町：市長は、乗せられて、この案組んだのは、この2人とかね。市の方と、県議と、市議がやって、ここでいいという事であれば・・・。

天理市：これは、誰がという事ではなく、私がやらなければいけない、ごみ処理をやれるという体制を整えていく中で、考えていったという事です。

岩屋町：だから、昨年から今年にかけて、話パッと出ただけやからね。そんなん・・・もっと検討せんなんいけません。

天理市：そうすると間に合わなかったという事です。今の炉の維持が間に合わなかった。これが無ければ、炉を動かして、修繕をやりながら、新しい施設を造るという事が、今のタイミングがギリギリだった。

岩屋町：広域行政と言うねやったら・・・。

天理市：それは行政側の都合で、正にそのとおりです。粗として、本当に市民の皆様のごみの処理をやるという、公の立場に於いて、しっかりしていく……。ゴミ処理は市に課せられた任務です。それを果たす為、この選択をし、地元の皆さんへお願いし、電力、熱の活用も含めて、地元に戻元できる対策も取っていきながら、進めて行きたい。

岩屋町：今日始めて聞かせて頂いた。これは、ここへ出来るの反対です。私は納得いきません。もし万が一、反対された場合どうなりますか。こんな所へ持って来るの、おかしい。こんな寝耳に水。あんた聞いていたのか。

天理市：住民説明会という形で、市民自ら来て、話調整していたので……。

岩屋町：それが、今というのはおかしい。聞いた時点で、こういう話があるという事で……。それが今日最短です。それは、そんな事あるかい。そんなのおかしいわ。それやったら市の……。そんなもん、先に六総話聞いていると言っている。それは住民説明会というのは最短です。

天理市：全ての市内で、初めてです。

岩屋町：そしたら、奈良新聞、今日始めて見たけど、あれだけ大々的に一面に載っている様な物、何で地元の説明が後になって来ますの。

天理市：それは、これと同じ資料を、これまで役員の皆様方や、他の場所ですべて出していますので、我々も奈良新聞から取材を受けた際には、私の発言も含めて、順を追って説明をしないといけないから、記事化してくれるなど隠したいからというのでは無く、新聞で先にご覧になったら、何で自分達が先ず知らなければいけない事が、新聞に載っているのという事で、それは筋目を違えてしまうので、それは記事にして欲しくありませんでした。ただ、紙の形で説明会を、進めていくと、どこかから、記者が入手されれば、行政が記事を差し止めるという事は出来ませんので、なったという事です。

岩屋町：5月の末に新聞に出て、もっと早く明日、皆集まってくれと言ってもいい問題や。こんなもの、川きれいにして、蛍飛ばす問題、違うよ。この問題、大きいよ……。ゴミ処理の問題分かっているやろ、苦労したの。上でいかれて、又下でいかれる。

天理市：奈良の処分場の事ですか。

岩屋町：ああ、処分場。

天理市：この事について、ご理解を頂きたいのは、処分場については、我々大阪湾と山添村の方にございます。

岩屋町：いや、それは違う。建設する時に、どの位当時の役員、苦労したかという事。わしらは、こう

いう事、一生懸命・・・岩屋に持って来なくても言い訳や。相当苦労したんや。その時の苦労、みんな分かっているねん。大きな問題や・・・これは。蛍の問題やないで。

天理市：蛍がこれによって、飛ばなくなるという事は無いと思います。

岩屋町：そういう大問題をね、そっちのけにして、寝耳に水の話をもっと、昔から皆こういう気持ちになる訳や。

天理市：今の岩屋の、環境が良くなるように・・・。

岩屋町：良くならんやん。どこ良くなるの。

天理市：何故でしょう。

岩屋町：何で良くなるの。良くなる所、説明してくれ。

天理市：主観のイメージの中では、迷惑施設と思いますが、実際にこの汚染する要素というものが無いというものになり、私も、電力、熱源を・・・。

岩屋町：今、無いなら、無いで、当たり前。出たらそれよりも、若干環境悪くなるねん。それにあんた今、良くなると言ったな。

天理市：それは周辺設備だとか、電力、熱利用を、地元に戻元できる様に今後やっていこうと思っているからです。

岩屋町：だからそれは、イメージダウンと環境を良くしていくアップとイコールの線に来なければ、納得出来ないですよ。そんな小さな、ここで発生する電力分配する位ダメ。大きな電気、熱利用やったら、もっと需要の多い所へ持って行かないとダメ。もっと多い所へ行くべきじゃ無いですか。

天理市：それだけが目的の発電所であれば、仰る通りですけども・・・。

岩屋町：プラスが発電と熱と仰るからね、それしか無いのであれば、もっと需要のある所へ行くべき。

天理市：まず、一番大元は、ごみを市として処理するという事が目的です。

岩屋町：ようけごみ出さる所へ持って行ったらどうやの。岩屋の人、ごみ出さへん。

天理市：それについては確保出来る用地の問題です。町の中で、仮に用地が確保出来るという事であれば、選択用地として入って来ますけど、用地が確保出来る見込みが無いと・・・。

岩屋町：努力してへんからと違うのか。する気無いねやろ。用地確保する気がないねんやろ。今、発表

している人は、凄く岩屋を大事にして、今後、孫末代まで生活し、岩屋へ人を来てもらおうと思っている人は、特に言いますねんで、言わない人も思っけていてもよう言わん。

天理市：私としても、地方創成としても、本当に岩屋が、これまで農業についても、先進的に取り組んで頂いている所を、行政の中でも、岩屋に住みたいという人が増えて頂けるよう、町づくりというのは、やっていきたいという事です。その上で、2、3万㎡必要になってくる用地が、現在の炉が動いてくれるこの10年の内に稼働する目途を付ける為確保できる所が難しいと判断しました。

岩屋町：冷静に考えてみいや。一番ごみ出す所何処や、天理市内で、天理教や。その天理教に確保させたらいいねん。あの人ら、税金も払ってないから、違うの。

天理市：天理教本部としては、法律に基づいて払っておられます。

岩屋町：宗教法人の税金というのは、そんな事ぐらい分かるわ。あんた、そんな事ぐらい、私らも分かるわ。

天理市：他の寺院とか、神社とかと同じように払って・・・。

岩屋町：そんな税は分かるやん。いっぱいごみ出さばるやろ。

天理市：その上で、2、3万㎡の土地を、本部にしても、パッカー車が運用出来る場所であるかと・・・。

岩屋町：あるやん。いっぱいあるやん。

天理市：飛び地では無くて、ですよ。

岩屋町：あるやろ、野球場潰したらええやんか。

天理市：柚之内・・・自然公園法とか・・・あこは、かかってないです・・・。

岩屋町：・・・。

天理市：それはグラウンド潰せと・・・。極論を言われると我々も対応できるような内容であれば・・・。

岩屋町：あこのグラウンド潰して、それでこっちのグラウンドあるし、もう少し広げられるし、それこそクリーンだし、歓迎します。これ、出来ますやん。

天理市：それは地権者の方の理解を得ないと・・・。

岩屋町：地権者って1人、天理教でしょう。だから、あんた天理教へ行ったでしょう。

天理市：それはグラウンド潰して、そこを使わして下さいというのは、これは日本は資本主義社会ですので、公の立場から、強制する事は出来ません。

岩屋町：いいや、話し合い出来る。・・・岩屋も強制されている・・・考えないから、安易に物事進めようとしているからや・・・。

天理市：例えば、努力出来るような提案いただけのであれば・・・。

岩屋町：何で我々が、提案せんならあかんのか。探す気無いのか。そしたら、なぜ天理教の土地借りるのか。

天理市：そこであれば・・・。

岩屋町：天理教、一番関係ない所、行っている。それは天理教も、無責任や。

天理市：貸して頂ける用地であり、後は、車の移動等を、複数の方向から、車が入って来られるとか、運用面も考えた上、ここにさせて頂きたい。

岩屋町：何で、ここや。県会、市会で決まったものやと、決定して持って帰ったら怒られる。

天理市：これは、私共行政が、主体的にさせて頂いているところであり・・・。

岩屋町：こんな事、今来て、寝耳に水、もう決まったような話、市長するから、これも1つの案ですよと、そういう話から入らないと。区長とかも、分かっているやつのなら、しかもあんたの側近の人いるわけないの。今日始めて聞いて、もう決まったような話しするから、こんな事、出てくるねん。区長とか、区長会共やったはずや。しかも、あんたの側近もいて、何で私らに、分からなかったのか。岩屋の住人になってくれている訳やから、いいでか、辛抱して、1番重鎮になってくれている訳やから、そんな人、先に集めて、言ってくれないとあかん。非常に、あなたにきつく当たっているようやけど・・・。

天理市：順を追って、地元の方に説明をして行ったらば、市内で1番早くに、役員の皆様意外にも、お話しできるタイミングが来たのは、岩屋だったという事でございます。

岩屋町：ええ。もう1回言って下さい。

天理市：順を追って、校区、町の役員の皆さんという、順番に話をしていった時に、最も早く、その町の皆さんにお話出来る状況になったのが、岩屋でございまして、何故かと言え、我々もここが、岩屋の領内であるという事を認識していたから、行かないといけないと思ったからです。

岩屋町：ちょっと、そこが違いますねん。複数の組合とかの団体に説明したと、そんなん寄ってはりま

すの。

天理市：それは、町の役の皆さんに、お話しするような機会を、櫛本校区の方にやらして頂いた時に、農家代表の方とかも、三役以外もいらっしやったという事です。

岩屋町：岩屋、それもしてませんやん。役員も、ここへ寄って・・・も寄って、話していません。タイミング、時間の問題やけどね。

天理市：(山中) すみません。

岩屋町：もつての外や。みんなの言う事聞いた。今まで、年一回会を開いて、みんなの言う事聞いた。それ一つもない。こんな重要な事。パッと寄せて、言わんならいかんやないか。

天理市：(山中) 今回の問題は、・・・パツパとするような問題や無いと思うんで・・・それは、私共が責任の人間の直に来させて頂いて、我々から、きちっと我々の口から説明しないとイケないという認識の元で、お願いを頂いたという事です。町の役員の皆様方に、ご迷惑をかけ、この段取りについても、我々が責任を負うべきだと思っています。

岩屋町：ちょっとすみませんが、今、結論出さんならあかんのかなー。

天理市：・・・賛否を問うという事では無く・・・市は、このような形で考えさせて頂いていると、今回は第一回目説明会だというふうに思っていますので、今後の予定として、何処の市と一緒にやるかという、事務組合を作った上で、環境評価をやっていく為の手続きというのは、来年度に向けて進んでいこうと考えております。その上で、きちっと皆様に説明をして、着工するところは、6年目という事になって行きますので、そういった形で進めて行きますので・・・。

岩屋町：そんな事、聞いてへん。それは、ここを限定して、環境にどう適しているか、問い合わせるんでしょ。違うやんか。何回も我々の言っている事、あなたは聞かないで。ここに決まって、ここを環境の打診すると、こんな環境アセスもして欲しくない。ここ、何故選んだのかから始まっているのに。ここまでの流れが、抜けている。

天理市：それを、3、4年、後ろ倒しになってしまうと、今の炉が持たなくなってしまう・・・。

岩屋町：10年経っても・・・ここで、決まっているねやろ。

天理市：ここで、ご理解を得て行く為の、手続きを進めようとしている。

岩屋町：反対や言ったら、どうするの。ここしか無いねやろ。せやろ。プラス、それは、あかんと言うてる。

天理市：ここで、皆様のご理解を得ていく為の・・・。

岩屋町：でけへん。・・・できません。・・・岩屋の村は、みんな反対やと。

天理市：先程、ご質問も出ましたけども、じゃあ地元の皆さんにとって、何がきちっとプラスになるか・・・。

岩屋町：そうじゃあ無いやろ。プラスもマイナスも無いやろ。他に案持ってきたさいよ。第二案とか、三案とか。第一案、後にも先にもこれだけやろ。

天理市：今現在・・・。

岩屋町：だから、第二案を・・・。

天理市：今の炉が動いて、新しい炉を造って行く時間と、設定できる候補地はここしか持ち合わせておりません。

岩屋町：そんなん、関係ないやん。ここしか無いねやろ。説明も、くそも無い。そんなんやったら・・・。納得せーと言っているだけやん。

天理市：そこのご懸念が、何処にあるのか、持ってきたら、空気が悪くなるのと違うか、水が悪くなるのと違うか、車がどうなるか、そういうところをきちんと説明させて頂きながら、皆さんにプラスになる要素はあるのかというのをやっていくのが行政の取るべき進め方だと思っておりますので、私も含めて、今日は、皆さんの貴重な時間を頂いたという事でございます。

岩屋町：説明は、もう・・・。櫟本説明に行つたと、さっき言わはつたな一。

天理市：櫟本は、役の皆様を各町、校区にお話をし、各町毎に誰に寄って頂こうというのは、町と相談しながら、何処までの範囲集まって頂こうかという事で進めていっております。次の段階では、役の方以外にも、お話をしようという事になってきている所もありますが。

岩屋町：絶対、あかんぞ、これは。他所の地で、そんな説明あつて、一番・・・。

天理市：住民説明会、まだなんです。

岩屋町：住民説明会よりも、今やったら、役員だけにでも声掛かつたるやろ。岩屋、何で声かかつたらへんの。

天理市：(山中) それは、役員の中では、話していたんですわ。皆さんへ、降ろして無かつたのは、悪かつたですけど、そこは私、怒られているんですけど・・・。

岩屋町：決まつた、ありきでやから・・・。村として、反対するかどうかは、役員会になるのか知れないが、まず、市長さんに聞きたい。住民が、みんな反対しましたよ、多分何処の在所も無いと思

いますわ。その中で、実際どう持って行くのか。環境アセス＝タイムテーブル載せている形として、じゃー・・・な物出して、対案出せと言われるけど、基本的に、ウエルカムと受け入れる所、少ないですよ。実際、何処へ行っても同じような反応になると思います。そうなって、炉、何処へ持って行かれるのか聞かせて欲しい。

天理市：我々の方でもきちんと、全国でどういう事例があるのかという事を検討しながら、皆様方に建つまでの間に、こういった地域の振興策というのをやっていこう、予算も含めてというのは、お話をしていきますが、そうでない部分については、あー・・・、この環境影響評価も含めて、我々が果たさないといけない、市民の皆さんに、これをやらないといけないという事になっている、ごみの処理をきちんと持続可能な形でやっていく為には、この10年の内に新しい炉が動かないといけないという事です。行政としては、皆さんに、何度でも足を運んで、ご理解を求めていく為にやっていくというのが、私の考えです。

岩屋町：これで、岩屋町の意志が天理市に、十分とは言わないが通じたと思いますので、第1回目の説明会というのは、この辺で終了させていただきます。

以 上

